

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

日の出町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

東京都西多摩郡日の出町

3 地域再生計画の区域

東京都西多摩郡日の出町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、2015年の17,062人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2023年には16,409人となっており、653人減少している。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」に準拠した推計では、2065年には総人口が14,425人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は2018年の2,393人をピークに減少し、2023年には2,161人となる一方、老年人口（65歳以上）は2015年の5,558人から2023年には5,957人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2015年の9,173人をピークに減少傾向にあり、2023年には8,291人となっている。

社会動態をみると、本町の特徴として町内に介護保険施設等が多いことから、転入者に占める60歳以上の割合が高く、転入者が転出者を上回る社会増が続いている。しかし、増加幅は減少傾向にあり、2019年には転入者（779人）が転出者（553人）を上回る社会増（226人）であったが、2022年の増加幅は168人となっている。

自然動態をみると、出生数は2015年以降、2016年の142人をピークに減少し、2022年には70人と大幅に減少している。一方、死亡数は年350人程度で推移していたが、2022年では379人と増加しており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲309人（自然減）となっている。

このように、本町では介護保険施設等が多いことが高齢者の大幅な転入超過、死

亡者数の多さに影響しており、また15歳から49歳の女性の減少を背景に出生数が減少し、「自然減」が「社会増」を上回り人口減、少子高齢化が進んでいる。

今後も人口減、少子高齢化が進行していくと、地域経済の縮小や活力の低下、地域のつながりの希薄化等、住民生活に多大な影響を与える恐れがある。

これらの課題に対応するため、本町の地域資源を最大限に活用しながら、雇用機会の確保や創出につながる産業政策に取り組み、また子育て環境の一層の充実を図ることで、若い世代を中心とした人口流出を抑制し誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりを目指して本計画を策定する。

なお、これらに取り組むに当たっては、以下の事項を基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- 基本目標1 安定した雇用を創出する
- 基本目標2 新しいひとの流れをつくる
- 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る
- 横断目標1 多様な人材の活躍を推進する
- 横断目標2 新しい時代の流れを力にする

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内事業所従業者数（経済センサス）	9,140人	9,242人以上	基本目標1
ア	新規就農者認定数（累計）	1人	5人以上	基本目標1
イ	人口社会増減数（転入者数－転出者数）	169人	180人	基本目標2
イ	交流人口（入込観光客数）	86万人	90万人以上	基本目標2
ウ	合計特殊出生率（東京都福祉保健局「人口動態統	1.12人	1.51以上	基本目標3

	計」)			
エ	町に対する愛着度	81.0%	84%以上	基本目標 4
エ	住み続けたい意向	87.3%	85%以上	基本目標 4
オ	自治会加入率	58.5%	64.0%	横断目標 1
カ	Society5.0に関する補助 金利用件数	1 件	1 件（累計） 以上	横断目標 2

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

日の出町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 安定した雇用を創出する事業
- イ 新しいひとの流れをつくる事業
- ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- エ 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る事業
- オ 多様な人材の活躍を推進する事業
- カ 新しい時代の流れを力にする事業

② 事業の内容

ア 安定した雇用を創出する事業

地域資源を最大限に活用しながら、農林業や商工業をはじめとした各種産業について、雇用機会を創出する事業

【具体的な事業】

- ・遊休農地の有効活用と再生化
- ・森林資源の整備及び有効活用

- ・ 中小企業への支援策の充実
- ・ 認定農業者等への支援
- ・ 雇用機会の拡充 等

イ 新しいひとの流れをつくる事業

本町の魅力を積極的に発信するとともに、定住・移住希望者のニーズを踏まえた定住促進施策を展開し、新しいひとの流れをつくる事業

【具体的な事業】

- ・ ひので野鳥の森自然公園の活用
- ・ フィルムコミッションによる地域の魅力向上・発信
- ・ 空き家の把握と対策
- ・ 移住・定住情報の充実 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

子育て環境・教育環境の充実を図り、若者の結婚・出産・子育てへの希望をかなえる事業

【具体的な事業】

- ・ 包括的子育て支援体制の拡充
- ・ 妊娠・出産に関する支援
- ・ 確かな学力の向上
- ・ 学校施設の充実
- ・ キャリア教育等の充実 等

エ 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る事業

交通利便性の向上や環境に配慮したまちの形成、将来の人口減を見据えた公共施設の有効活用により、安全・安心な暮らしを守る事業

【具体的な事業】

- ・ 日の出町行政カードを活用した協働のまちづくり
- ・ 文化財と伝統文化の保存・継承
- ・ 地域交通システムの再構築
- ・ 安全・安心なまちづくり
- ・ 環境にやさしいまちづくり
- ・ 地域包括ケアシステムの構築

- ・「公共施設等総合管理計画」に基づく公共財産の有効活用 等

オ 多様な人材の活躍を推進する事業

地域と関わる一人一人が地域の担い手として自ら積極的に参加できる環境を整備し、多様な人材の活躍を推進する事業

【具体的な事業】

- ・様々な分野・人材との連携協力の推進
- ・地域コミュニティの振興
- ・新たな全世代・全員活躍型生涯活躍のまちの推進 等

カ 新しい時代の流れを力にする事業

地域課題の解決に有用な未来技術を導入し、デジタル化の推進・生産性を高め、地域の発展を目指す事業

【具体的な事業】

- ・未来技術の活用による地方創生の推進
- ・地域における情報通信基盤等の環境整備
- ・マイナンバーカード取得推進及びマイキーIDの設定支援 等

※ なお、詳細は日の出町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

10,000 千円（2023 年度～2024 年度）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで